

障害福祉分野の人材確保の取組みについて

1 概要

障害福祉サービス利用者や障害者手帳所持者数の増加が進む一方、支援を行う障害福祉サービス事業所では、若手職員の確保や定着が深刻な課題となっている。平成 30 年度策定の仙台市障害者保健福祉計画において、「地域に必要な機能のための基盤整備」として障害福祉分野で働く人材の確保と定着の支援を重点分野と定め、施策を推進している。

2 障害福祉人材確保・定着支援に関する主な取組み

○平成 30 年度の事業実施状況

・ココロン☆ワークスペシャル（10 月 24 日開催）

障害福祉分野の人材確保と定着のための交流会。「年の近い先輩に話を聞きたい！」「他の職場の同年代の人と話したい！」と感じる学生と、障害福祉事業所の若手職員が、日々の仕事のやりがいや、就職にあたり気になる事などについて気軽に意見交換を行った。

・障害福祉分野の人材確保に向けた研修会（2 月 13 日開催）

各障害福祉事業所にて人材確保を進める上で重要な、最新の学生の考えや就活事情を知るための研修。長年、福祉人材を育成・輩出し続けている東北福祉大学から関川准教授を講師として迎え、これからの大学での学びから効果的な求人票の書き方まで、幅広くお話しいただいた。

○令和元年度の事業実施状況

・障害福祉分野の人材確保戦略セミナー（10 月 21 日開催）

市内障害福祉サービス事業所向けに、福祉分野の人材育成に取り組む大学の先生や民間団体の方々から、最近の学生の傾向や、福祉人材確保の現状、人材採用のポイントなどについて、様々な視点から講演いただき、人材確保のヒントを伝えていただいた。

・障害福祉分野の就職応援交流カフェ／福祉のおしごとフォーラム（2 月 6 日開催）

【障害福祉分野の就職応援交流カフェ】

障害福祉分野に関心のある学生と、障害福祉サービス事業所の若手職員がひとつのテーブルにつき、障害福祉分野の魅力や職員の一日の過ごし方などについて本音で語る交流会を開催した。事業所の枠や学年の枠を取り払ってテーブルを囲み、別事業所の職員同士でも情報交換を行うことができた。

【福祉のおしごとフォーラム】

事業所ごとに説明ブースを設置し、福祉の仕事に興味を持つ学生や就職を希望する学生に向けて、事業所の魅力・特徴や仕事のリアルな話を伝えていただいた。

3 令和 2 年度の取組み（案）

令和元年度に引き続き、学生と障害福祉サービス事業所職員との交流の機会を作っていくとともに、セミナー開催等により事業所の魅力発信力の強化支援等の取組みを検討している。